

令和7年度 港区立赤羽小学校 経営計画

目指す学校像

- 子供の笑顔が輝く学校
- 保護者・地域から信頼され、共に子供を育む学校
- 教職員が指導力を磨き合い、自分のよさを発揮できる学校

教育目標

- 【徳】やさしい子
- 【知】かんがえる子
- 【体】げんきな子

目指す児童像

- ◎夢と生きがいを持ち、自ら学び、考え、行動し、未来を創造する子供
- 【徳】あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働し、創造する児童 <重点>
- 【知】自分のよさや可能性を認識し、知識・技能を活用し、課題を解決する児童
- 【体】自分を見つめ、健康で安全な生活や体力の保持増進を実践する児童

中期的経営目標【知】確かな学力の育成

- 基礎的な学力の育成
 - ・「めあて」を明確にした分かりやすい授業
 - ・タブレット端末等 ICT 機器を活用した個別最適な学び
 - ・習熟度に応じた指導（3～6年算数科）
- 思考力・判断力・表現力の育成
 - ・多様な「考える」「書く」「話し合う」等の言語活動、協働的な学習活動、複線型授業や主体的・対話的で深い学びとなる授業の工夫
 - ・高学年教科担任制による、質の高い授業
- 学習意欲や知的な好奇心の喚起
 - ・児童の興味・関心や地域の教育資源を生かした学習
 - ・サイエンスアシスタントやみなと科学館等の活用
 - ・司書を活用した学校図書館の充実、読書週間等の指導

中期的経営目標【徳】豊かな心や創造性の育成

- 基本的な生活習慣の定着
 - ・「あいさつ・あんぜん・ありがとう」
 - ・「あかばねのよい子」
- 自分や他者を大切にし、協働する心の育成
 - ・「特別の教科 道徳」を要とした全教育活動における人権教育の推進
 - ・たてわり班活動や併設園との交流等の異年齢活動
- いじめの防止
 - ・「学校いじめ防止基本方針」を踏まえた指導
 - ・「学校いじめ防止対策委員会」組織的対応
 - ・児童主体のいじめ防止の取組（いじめ防止集会等）
- 体験的な活動の充実・学校 2020 レガシー
 - ・ビオトープや太陽光発電設備を活用した環境教育
 - ・ネイティブ・ティチャーの活用や大使館との交流による国際理解教育
 - ・地域と連携した障害者スポーツ体験

中期的経営目標【体】心身の健康と体力向上

- 健康な体づくりと体力向上
 - ・体力・運動能力に関する調査の活用
 - ・屋上校庭・体育館・講堂等を最大限に活用した取組
 - ・「一校一取組運動」縄跳び、ボルダリング
 - ・アスリート等との交流
 - ・学校栄養士と連携した食育指導
- 安心して過ごせる環境
 - ・1年プレクラス、学年担任が連携した支援・相談体制
 - ・スクールカウンセラーとの全員面談（4・5年）、休み時間の教育相談室利用など相談しやすい環境整備
 - ・「不登校対策委員会」スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・関係機関と連携した組織的対応
- 安全教育の充実
 - ・警察署と連携した交通安全教室やセーフティ教室
 - ・計画的な安全指導、消防署と連携した防災教育

特別支援教育の充実

- ・児童一人一人の教育的ニーズに応じた支援
- ・個別的教育支援計画や個別指導計画に基づく指導
- ・関係教職員や関係機関と連携した支援・指導

教師の指導力の向上

- ・児童の力を伸ばす指導方法の研究・研修による授業改善
- ・各教科等の相互の関連を考えカリキュラム・マネジメントできる力の育成
- ・働き方改革による心身の健康維持（ICT 機器の活用、SSS、EA 等の人材活用、閉庁日等の設定、留守番電話・メール等の活用、時間コスト意識の醸成）

学習環境の整備

- ・教室等の施設的环境美化と安全点検の徹底
- ・「学校運営協議会」による地域の教育力の活用
- ・「三田アカデミー（三田中・芝小・御田小・赤羽幼・赤羽小）」幼・小中一貫教育の推進